

## ◆団体基本情報

No.	6	種別	公益社団法人	団体名	公益社団法人仙台市シルバー人材センター		
所在地	〒980-0802 仙台市青葉区二日町14-4 北四番丁ステーションビル4F						
電話番号	022-214-6262		FAX番号	022-214-6264		所管 部局	健康福祉局 高齢企画課
団体ホームページ	<a href="https://webc.sic.ne.jp/sendaisc/">https://webc.sic.ne.jp/sendaisc/</a>						
代表者職氏名	理事長 石川 浩史			設立年月日	昭和56年1月10日		
基本財産等	0 千円		市の出捐額 (割合)	0 千円 ( 0.0 %)			
設立 目的	定年退職者等の高齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業またはその他の軽易な業務に係る就業の機会を確保し、提供することなどにより、その能力を活かした就業その他の多様な社会参加活動を援助して、高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。						
事業 概要	会員登録している高齢者に対する臨時的かつ短期的な及び軽易な業務の就業機会の確保及び提供						
評価対象決算期	令和5年4月1日～令和6年3月31日						

## ◆人員等の状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
①常勤役員数	2 人	2 人	2 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	1 人	1 人	1 人
②常勤役員平均年齢	62.0 歳	63.0 歳	64.0 歳
③常勤役員平均年間報酬	4,500 千円	4,516 千円	4,544 千円
④職員数	16 人	16 人	18 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	1 人	0 人	0 人
⑤職員平均年齢	51.4 歳	45.5 歳	45.9 歳
⑥職員平均年間給与	4,344 千円	4,305 千円	4,099 千円

## ◆主要財務データ

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
①当期経常増減額	5,658 千円	10,704 千円	21,664 千円
②当期経常外増減額	4 千円	0 千円	0 千円
③当期一般正味財産増減額	5,662 千円	10,704 千円	21,664 千円
④一般正味財産期末残高	133,876 千円	144,580 千円	166,245 千円
⑤指定正味財産期末残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥正味財産期末残高	133,876 千円	144,580 千円	166,245 千円
⑦長期借入金残高	0 千円	0 千円	0 千円

## ◆市の財政的関与

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
①市からの補助金	53,909 千円	54,421 千円	58,016 千円
②市からの委託料 (指定管理料含む)	61,048 千円	76,516 千円	73,171 千円
③市に対する収入依存度	10.52 %	12.18 %	11.68 %
④市からの借入金	0 千円	0 千円	0 千円
⑤市からの債務保証に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥市からの損失補償に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和5年度事業費
高齢者に対する就業相談及び職業紹介事業	臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者のために、就業の機会を確保し、提供している。 (会員数：R6.3.31現在 2,820人)	1,088,068 千円

◆経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管局によるコメント
1. 公益的使命・市が期待する役割への対応	人口減少に歯止めがかからない状況下、意欲ある高齢者の活躍が地域活性化の鍵となっている。労働人口の減少による人手不足は深刻な問題であり、社会の担い手の一員として活動しているシルバー人材センター会員の役割は大変重要である。地域の特色や実情を踏まえ高齢者が就業等を通じて地域社会に貢献できる仕組みや、高齢者・子育て世帯からの支援ニーズに応えるための就業開拓を進め、技能習得の研修会等の実施、75歳以上で就業への意欲・労力を持った会員が働ける体制を新たに作り、事業の拡大を図る。「生涯現役サポートセンター」においても多様な働き方のセンターとなるよう努める。	生産年齢人口が減少する少子高齢社会において、地域や社会におけるさまざまな活動の担い手として高齢者の役割への期待が高まっている。本市の高齢者保健福祉計画においても「高齢者の意欲と経験に応じた活躍を後押しする取り組みや、環境づくりの推進」を進める取り組みとしてセンターの事業を位置付けており、公益性の高い事業を行う等、社会が期待するセンターの役割は年々増していることを踏まえ、今後も高齢者の多様なニーズに応じた就業機会の提供に取り組まれない。
2. 業務・組織管理	市関係機関・団体と連携し、新たな仕事の獲得に向けた取り組みを行っている。人手不足が深刻な介護・子育て分野等においても就業開拓に努め、介護事業所を対象に国の補助事業である介護トライアル事業のPRを行い、就業機会の創出に繋げている。 デジタル化にも取り組み、会員を対象としたスマホ教室やセキュリティ研修等を開催して便利で適切な利用を推進し、会員・職員との間で業務用アプリを導入して連絡や情報共有を行うなど業務の効率化を図っている。	これまで「会員の確保」と「就業機会の拡大」に努め、従来の請負・委託に加え、シルバー派遣事業等多様な就業形態を提供してきた。また、介護分野等における受注機会拡大に向けた取り組みや、スマホを活用した業務効率化など、職員の挑戦に基づく事業運営強化が図られている。引き続き、適切な業務運営に取り組まれない。
3. 財務状況	事業収益の回復と派遣事業の伸びが順調で、契約金額は前年度実績を上回った。物価高への対応として事務費率を見直したこともあり、財務状況は安定している。しかし、大口の就業先の閉店や、インボイス制度の開始により負担することとなった消費税は、経営基盤に与える影響が大きい。特定費用準備資金の積立てのほか、デジタル化による効率化を図り、自己財源の確保にも取り組んでいる。	事業収益の増加等によって財務面の改善が図られた。今後の事業環境の変化を見据えた特定費用準備資金への積立てや、手数料見直し等により財源確保に努めている。引き続き、会員の確保や就業先開拓など財務状況の安定に取り組まれない。
4. 今後の方向性及び課題	インボイス制度やフリーランス新法への対応が求められ、新たな契約方法への移行準備など、シルバー事業を取り巻く環境はきわめて厳しいことが予想される。「中期経営方針2023」に基づき、センターの事業を推進し、制度変更への的確な対応、運営基盤となる財源の確保を図り、より一層、地域や高齢者から必要とされる組織を目指していく。	少子高齢化が進む中、高齢者の社会を支える側としての役割に期待が持たれており、その後押しをする当センターの取り組みの重要性は今後も増していくものと想定している。当センターの事業は、高齢者の貴重な知識・経験や技能を地域社会へ還元するとともに、会員の社会参加や生きがい作りにもつながっている。高齢者や当センターを取り巻く環境が変化していく中でも、中期経営方針に基づき、就業機会や会員の確保のほか、デジタル技術を活用した業務効率化など、経営基盤の安定化に向けた取り組みをさらに推進されたい。